

横浜市市民プラザ 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	伊藤委員	大野委員	佐々木委員	関谷委員
<p>使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる</p>	<p>【評価する点】 吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 総来場者数は増加傾向にあり、R8の達成目標を大きく上回っており評価できる。 「来て見て市民プラザ」や「ピアノプラン：朝からグランドピアノ」等、意欲的な試みが実績を上げている点を評価したい。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 来館者・利用者のニーズの把握に基づき、ターゲットに合わせた広報手段での発信により、利用層の拡大を図ったことは評価したい。 <p>【更なる取組を期待する点】 吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者に規模の小さい施設への移行傾向がみられるとのことであるが、それぞれの施設にあった使用方法等を丁寧に伝えていくよう努力されたい。またギャラリーについてもその有効活用のモデルを提示するなど、利用率の向上を計って欲しい。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> リハーサル室やレクチャールームの利用率が低い理由を分析し、必要な場合は異なる使い方も含め検討する必要がある。 	<p>【評価する点】 吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ホール利用率91%、スタジオB・C85%と高い水準を維持している(R6実績)。 「朝からグランドピアノ」や「ウェルカムプラザ」など、個人や初心者も気軽に利用できる取組により、“観る人”が“参加する人”へと変わるきっかけを生み出している点が特徴的である。 また、利用者アンケートをもとに機材を改善するなど、来館者の声を反映した運営がなされており、利用者の体験を重視する姿勢がうかがえる。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ホール利用率94%、スタジオ利用率86%と安定した利用が続いている(R6実績)。 キャッシュレス決済の導入と職員研修の実施により、利用者にとって使いやすく、職員にとっても運営しやすい環境づくりが進められた。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートで寄せられた意見を早期に反映するなど、日常的な改善を重ねる姿勢が見られ、運営の質向上に寄与している。 <p>【更なる取組を期待する点】 吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ギャラリー利用率47%(R6実績)と目標未達。 特定の利用者層に偏らないよう、世代や関心に応じた利用提案や案内の工夫が求められる。 特に若年層や初めて利用する層に向けて、SNSや動画などを活用し（作成に関し若年層と意見交換するなど）、施設の魅力をわかりやすく伝える発信力の強化が望まれる。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> レクチャールーム、リハーサル室、ギャラリーの利用率は目標に届いていない。 これらの空間を、展示・学び・地域交流など多目的に活用できる場として再提示することで、新しい利用の広がりが期待できる。各部屋の特徴や活用例を具体的に示し（案内動画を作成・公開など）、利用イメージを持ってもらうことが、利用促進につながると考えられる。 	<p>【評価する点】 吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 総来場者数は年々増加し、すでに達成指標の倍以上の成果を上げており、指標自体の見直しを検討してもよいレベルである。 指定管理者の独自事業として階段壁面を利用して市民の作品を展示する「わたしのギャラリー」を実施している。こうした取り組みは、市民の活動を支えるとともに指定管理者の収益事業として施設のさらなる有効活用を図るものである。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の特性を分析するとともに、地域の多様なメディアを活用し、個々のターゲットを踏まえた広報戦略を進めている。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> バックヤード公開（吉野町）や施設紹介動画などによる新たな利用者層の開拓に向け挑戦を進めている。 キャッシュレスシステムなど新たなサービスにも着実に対応できるよう職員の教育・運営体制を整備し、利用者サービスの向上に努めている。 ピアノプランは両館において、新規利用者の開拓や幅広い年代層の利用があるなど一定の成果を上げている。副次的には、スタッフの技術向上に向けた研修的な効果（岩間）もみられる。 <p>【更なる取組を期待する点】 市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 長く利用してきた団体の会員数減などにより利用施設の変化がみられる。個々の団体の活動の持続性を支援していくことに加え、新しい利用者層を開拓していく必要がある。 	<p>【評価する点】 吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 総来場者数が順調に増加している点が大変望ましいと思います。 施設紹介動画とアクセス案内の取り組みは、利用者や興味のある方への発信となり、とても良いと思います。 R5からの新規事業としての「ウェルカムプラザコンサート」は、満席になるほどの好評となったとのことで、コンサートを楽しむという目的は十分に達成されていて、とても良い企画だと思います。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動拠点を岩間市民プラザにしている団体紹介の掲示が、3階受付前の掲示板にある点を評価します。市民の活動の場となっていることが来場者にもわかり、また活動団体も問合せが増えてうれしいとのことで、とてもよいと思います。 借恵いわまワークスとの共同事業で、来場者が巡回する催し物とタイムテーブルを工夫して延べ500名以上の参加があり、大盛況だった点を評価します。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数向上に向け、広報や工夫をしている点について評価します。利用者各自の状況もあり、なかなか利用率向上は簡単ではないと思いますが、継続して働きかけることにより、効果が出ると思うので引き続き努力をお願いいたします。 <p>【更なる取組を期待する点】 吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 総来場者数が伸びれば、利用率や施設の認知度アップにもつながりますので、R8達成目標がかなり低めに設定してありますが、実績よりやや多めでもいいのではないのでしょうか。 「ウェルカムプラザコンサート」は、コンサートを楽しんでいただく目的以外の、利用率等のその他の広がりにはまだ反省点があるとの自己評価ですが、その企画内容の再検討に期待します。 活動拠点を吉野町市民プラザにしている団体の紹介についての掲示の記載がありませんでした。もし掲示されていないのであれば、定期利用8団体等の紹介など市民活動の場となっていることを、来場者にアピールしてはいかがでしょうか。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> R6の総来場者数の実績がR4と同じくらいに減少した点を分析して頂き、目標に近づける努力に期待します。 口頭での意見の聴取はクレームの受け取りにつながるリスクもあります。職員の方の心のケアとカスタマーハラスメントを受けないように、クレームについてはできることは速やかに対応を練り、出来ないことについては回答の方法等を共有しておき、トラブルを回避する必要があると思います。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ギャラリーの利用率向上は両市民プラザ共通の課題となっています。岩間市民プラザで4つの保育園の絵の展示を行ったとのことですが、それを参考に、近隣の保育園や幼稚園など展示スペースが確保できない施設に合同で利用してもらうなどの取り組みは効果があると思います。毎年継続される企画に持つていければ、さらに利用率向上につながると思います。

横浜市市民プラザ 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	伊藤委員	大野委員	佐々木委員	関谷委員
<p>使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する</p>	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型事業や講座等を取り入れた鑑賞型事業についてはR8達成目標も上回り、参加者の満足度も高く評価できる。 光のプロムナードやアートアンドクラフト・マーケットは幅広い年齢層が来場しており、市民交流の場になっている。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 保土ケ谷区在住の日本舞踊家を講師に迎え「子どものための日本舞踊ワークショップ」を開催し、合わせて着付けや作法などの体験講座を開くなど、地域の文化資源を顕在化させ活用している点など高く評価したい。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ギターワークショップは、幅広い参加者にあわせた段階的な講座で好評を得ているが、しかし講座を選ぶ際にミスマッチもあるようで、最初のオリエンテーションを強化されたい。 優先予約制度ウェルカムプラザの定期利用は8団体とのことだが、目標値を建て、広報も周知していくことが求められる。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型事業は大きく達成目標を超えていて評価できるが伸び悩んでいる。アウトリーチ事業のあり方を再検討する必要があると思われる。 講座等を取り入れた鑑賞型事業の実施回数が減ってきているが、「日本舞踊ワークショップ」などいい事業も行っているため、その効果を高めたり、告知していく努力をしていって欲しい。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ギター講座やアート&クラフトマーケットなど、来館者が「つくる」「体験する」立場で関われるプログラムを拡充している。 体験を通じて文化を身近に感じられる機会が継続的に提供されており、参加者の広がりにも寄与している。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽、演劇、日本舞踊、映像制作など、幅広いジャンルで体験・発表の場を継続的に提供している。 地域在住の講師を活用したワークショップ形式は、地域の人材と知識を活かした学びの仕組みとして機能しており、地域文化の継承にもつながっている。 講座内容に多様性があり、文化活動への初めの一歩を支える取組として意義が大きい。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 3館連携によるインクルーシブ事業（ダンスワークショップ）では、障がいの有無に関わらず多様な市民が一緒に参加できる環境を整え、共に楽しみ、学ぶ場を生み出した点が評価できる。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報のデジタル化は進みつつあるが、情報を「届ける」ことと、実際に「参加したい」と思わせることの間で課題が残る。今後は、単にイベントを知らせるだけでなく、参加者の声や写真などを交え、活動の楽しさや成果を伝える工夫が求められる。体験の魅力を共有することで、新たな参加の循環が生まれることを期待する。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部講師の高齢化や事業継続の難しさが見られることから、参加状況や満足度などを把握し、講座内容の見直しを行うことが必要である。社会の変化に合わせた新しいテーマ（デジタル発信系やウェルビーイング、多世代・地域共創など）を取り入れることで、若い世代の関心にもつながると考えられる。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 来場者満足度は4.5の最終達成指標に達し、講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業の実施回数も最終達成指標を越えている。 チラシラックにおいて分野別の分類、開催日を付箋で明示するなど、より分かりやすく配架することで、市民が多様な参加の機会を支援している。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型事業の実施回数は最終達成指標を大幅に超え、来場者満足度も段階的に向上し6年度には最終達成指標に到達している。 講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業では、回数において達成指標に満たないものの、地元の舞踊家を講師に招くなど新たな取り組みを進めている。 これまでの事業の積み重ねにより人気TV番組に出演する落語家の独演会を定期的に開催することができ、多くの来場者を得ている。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ダンスワークショップでは、複数館が連携することにより、単一の地域にとどまらない市内全体のイベントとして運営することができている。また、各館の運営スタッフが協力することで、職員の経験値の向上にもつながっている。 障害者対応として視覚障害者への観覧機会の確保（岩間）、休憩スペースへの転用（吉野町）、子育て世代支援としてベビーカー預かりサービス（吉野町）、授乳スペース・おむつ替えスペースの提供（岩間）など、限られた施設を有効に活用し、多様な参加者の参加を図っている。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ギターワークショップは単発的な講座だけではなく、年間を通じてステップアップする社会教育的な講座としても実施されている。半面、課題にも示された参加のタイミングにより利用者のニーズに沿わない課題もある。事業の全体像を広報することや必要であれば事前のレベルチェックなどにより、より効果的な運営が望まれる。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトリーチ事業の実施回数が達成指標を大幅に下回っている。吉野町市民プラザの運営事例や広報等で培った地域連携も活かし積極的な展開が望まれる。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 一定の評価を得ている講座も多く、見直しの機会も限られるかもしれないが、新たなニーズにも対応し、新たな参加者の確保のため、新講座等の開発も進めたい。 ダンスワークショップなど複数館連携の事業の運営も安定してきているところだが、次の段階として地域への波及効果など何を目指していくのかを検討いただきたい。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型事業の事業数及び実施回数が目標を達成しており、ギター講座のほか3館連携の映像講座や写真講座、ライター講座と広がった点を評価します。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型事業は参加者の満足度が高いとのことで評価します。午前の音楽会も楽しみにしている参加者が多く、とても良い企画だと思います。 アンケートを実施して事業内容に反映させるようにされている点を評価します。内容についても満足度が高く、単なる形式的なアンケートになっていない点を評価します。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> HPで活動内容を収録して公開している点を評価します。WEBで市民プラザを閲覧している方へのアピールとなり、効果があると思います。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 光のぶろむなあどとの共催は、来場者数はある程度見込めても、さらにプラザ内の出店に興味が出るような企画発案を期待します。 自己評価にもあったように、ホームページのリニューアルに合わせ、Web研修等による職員の技術向上に期待します。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 定量指標の体験型事業の実施回数に関するR8達成目標が実績より少なめですが、目標値なので実績よりやや増やしてもいいのではないのでしょうか。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 3館連携の講座が単独でも開催できる企画になるように取り組んでいただければと期待します。3館連携事業は単館では実現できにくい事業であると思いますが、講師の方と工夫を重ねて小規模でも実現できるような取り組みを期待します。 こんな企画があったらいいなというアンケートで、若い顧客層の開拓につながるアイデアをヒアリングしてはいかがでしょうか。 主婦層をターゲットに子育て世代にも興味がわくような企画や講座も検討し、利用者の幅を広げて頂くことを期待します。

横浜市市民プラザ 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	伊藤委員	大野委員	佐々木委員	関谷委員
使命3 次世代を担う人材を育む	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みの自由研究にも対応する「キッズアート講座」を始め「ホール探検ツアー」など子どもの関心に即した企画は評価したい。 「光のぶろむなあど 水辺のコンサート」へのキッズダンスや中学校の吹奏楽部の参加も評価したい。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校や保育園と連携した事業は目標値を超えて実施しており、「ぼくのわたしのお絵かきあそび」は4つの保育園の協力を得て156名の来場を得るなど、内容的にも評価できるものであった。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校や保育園との連携や市民とともに企画・実施する事業の実施が3年連続で達成目標に届かない理由を分析し、地元・近隣の学校等との連携や、市民・文化団体との連携を進めていって欲しい。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもや親子連れをターゲットとした事業がR6年度は大きく減っている。地域の子ども会や学童など、地域団体との連携や、夏休み対応など工夫し、努力してもらいたい。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「キッズアート講座」「ホール探検ツアー」「若手落語会」「吉野町ダンスカップ2024」など、子どもや若手に向けた舞台参加・発表機会を継続的に提供している。特に地域の中学校・高校との協働は、地元で文化を体験し、自ら発信する機会となっており、地域に根差した人材育成の仕組みとして機能している。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校や保育園との連携を継続し、「子ども絵画展」などを通じて文化体験の機会を創出している。 学生料金の設定や子ども対象の舞踊講座など、教育的な機会を誰もが得られるようにする配慮がなされており、学びの場としての役割を果たしている。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 未実施となった一部事業を踏まえ、年度初期の段階から計画と広報を一体的に進める体制づくりが望まれる。 子ども向けの企画を「単発のイベント」から「体験→再参加→発表」へとつなげる育成型の流れにすることで、継続的な成長と地域文化への関心の定着が期待できる。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加した子どもが成長しても関わり続けられるよう、教育・参加・地域貢献をつなげる循環的な仕組みの構築が理想である。例えば、卒業生がボランティアや講座補助として関わる仕組みを整えるなど、世代を超えて文化活動を支える関係づくりを検討することが望ましい。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 若手落語会では、出演者と出身校をつなげ、中学生の鑑賞も促すなど、次世代支援に加え地域連携にも波及する事業展開を進めている。 新たな試みである「キッズアート講座」は夏休みの自由研究という利用者ニーズを捉えた事業と評価します。半面、募集が集中する課題も生じていますので、募集方法の工夫も必要となります。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校や保育園と連携した事業は、達成指標の倍と高い実績を挙げている。 若手アーティスト公演への協力を着実に進め、人気落語家の定期的な独演会開催につなげている。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の小学校や保育園などにインタビューすることで、ニーズや子どもの関心を探りつつ事業企画を進めています。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> U25プランの適用団体については、団体の年代的な特性や利用枠による制限もあるが、青少年にとっての有効な活動支援手法でもあり、さらなる周知が望まれます。 学校や保育園と連携した事業が伸び悩んでいる。同事業で高い実績を挙げている岩間市民プラザのノウハウも学び、事業展開に活かしていただきたい。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本舞踊ワークショップの近隣小学校へのチラシ配布が行えず、定員に満たなかったとのことだが、ターゲット向き広報の実績も活かし、子育て世代に届く広報手段を検討いただきたい。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 定量指標において、子どもや親子連れをターゲットとした事業数・回数がR4・5年度と比較して6年度は大幅に減（岩間）、市民とともに企画・実施する事業が6年度は減じ、かつ指標値からも大幅に下回っている（吉野町）。要因分析を行い、今後の事業展開に活かしていただきたい。 芸術文化教育プラットフォーム学校プログラムは、子どもたちの環境による文化受容の格差を解消していく横浜市の大切な取り組みである。レベルアップを図るとともに、担当した校数だけでなく、内容を発信することで市民プラザの実績を対外的にもアピールしていただきたい。 定性指標に示された「アートネットワーク会議」については、当初案の具体化について整理されきれていない感もありますが、すでに進めている地域団体との調整や地域人材の発掘としての位置づけも出ています。「使命4）文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける」における効果も検証しつつ、より有益な運営手法を検討いただきたい。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> キッズアート講座は小学生と保護者に好評とのことで、企画がうまくいっている例だと思います。 若手落語会や吉野町ダンスカップや水辺の光コンサートなど、次世代を担う人材を育む企画に積極的に取り組んでいる点を評価します。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくのわたしのお絵かきあそびや紙芝居会や折り紙の作品展示など、子どもたちを対象にした企画に工夫がある点を評価します。 岩間 ROCK SPACE、岩間寄席、岩間シネクラブ、午前の音楽会など、岩間市民プラザならではの看板企画が定着しており、大変望ましいと思います。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 2館連携の吉野町音楽空間の盛況と、スタッフをそれぞれの館から応援派遣し共通のMCスタッフで対応するなどスムーズなイベント運営に工夫されたところも評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 吉野町アート空間は準備が間に合わなかったとのことで、再チャレンジに期待します。 市民とともに企画・実施する事業がR5の5事業からR6では1事業に減少しています。減った理由を分析して事業数を増やす取り組みに期待します。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもや親子連れをターゲットとした事業数がR5の12回からR6では3回に減少しています。減った理由を分析して事業数を増やす取り組みに期待します。 学校と連携した若手支援の企画実現では、自己評価でも次年度の実現に努める旨の記載がありますが、検討と打ち合わせを十分に行って実現されることを期待します。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みの小学生の自由研究講座はかなり関心が高まる企画となるので、講師の情報を収集して講師を確保し、複数企画につながればと思います。 子供たちが一生懸命取り組んでいる様々なことについて、発表の機会を提供することにより、身近な市民プラザとして次世代へ続く取り組みになると思います。常に新しい企画にチャレンジして、うまくいった企画については毎年継続して頂くことに期待します。

横浜市市民プラザ 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	伊藤委員	大野委員	佐々木委員	関谷委員
<p>使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける</p>	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「光のぶろむなあど」において、参加団体のサポート役として地域行事を支え、地域の交流に貢献した。 睦町地域ケアプラザでのアウトリーチ事業への協力など、地域の施設間連携も進んでいる。 吉野町音楽空間等、市民団体との協働事業も継続的に取り組まれており、特に今回は SNS 等による定期的情報発信に加え、動画掲載やインスタグラムの活用等にも広がり評価したい。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業とも、ほぼ R8 年度目標を達成できており、順調に取り組まれている。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的包摂の実現を目指す事業は、3 館連携の「インクルーシブ・ダンスワークショップ」により広がりをみせてきている。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の団体との連携は進んではいるものの、まだ目標数字には達していないので、一層の努力を求めたい。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> インクルージョン事業は R5 に引き続き 3 館連携で取り組み、協力体制も整ってきていることから、更なる継続強化を期待する。 今後もさらに地域の祭りなどにも施設が持つ専門技術や能力を活かした協力を進めていって欲しい。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「光のぶろむなあど」「ウェルカムプラザコンサート」など、地域に開かれたイベントを継続的に実施し、地域住民が出会い、交流する機会を生み出している。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「偕恵いわまワークス」との連携による「わくわくマーケット」や、ヨガ・オカリナ・アート講座など、地域講師を起点とした事業を展開している。 市民が自ら運営に関わる形が定着しつつあり、参加者が主催者へと育つ地域文化活動の循環が見られる点が評価できる。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 館連携では役割分担を通じて広域的な文化交流圏を形成しており、地域文化を支えるネットワークづくりが進んでいる。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域商店街や団体との協働は始まった段階にある。今後は、「地域のためのイベント」から「地域と共につくる企画」へと発展させることで、地域の主体性を活かした共働の仕組みが定着すると考えられる。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ギャラリーの展示用途が偏り（特定の展示や利用者層に固定）、柔軟な空間運用を阻む要因となっている。展示だけではなく、体験や交流を融合させた複合型イベント（ワークショップや制作コーナーなど）を検討し、参加者層の多様化を促すことを期待する。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントの支援として、施設の専門性を活かしオペレート協力など技術的な支援も行っている。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 併設施設である偕恵いわまワークスの活動を他地域につなげるなど地域の発信拠点としての活動も進めている。 東海道宿に関する講座や展示、地域の民話の紙芝居など地域の歴史を振り返り、地元への愛着を育む事業展開を図っている。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 両施設ともに団体ヒアリングやイベントの参加者の調整などにより地域団体とのつながりを重ねている。 インクルーシブ・ダンスワークショップ事業は、体験型事業、社会包摂、他館連携など、複数のミッションを満たす事業である。複数館の連携により、地域に関わる方たちが他地域を訪れ、複数エリアが関わりあう事業展開を図っている。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域イベントが開催されないケースもあるが、地域団体とのつながりは事業広報にとっても大切な関係である。今後も継続的な関係構築を望みます。 コロナ禍により地域団体の活動内容の変化も考えられる。新たな団体との連携とともに、従来の団体の活動の復活を支援いただきたい。 「(使命3) 次世代を担う人材を育む」に示された「アートネットワーク会議」への取り組みは、地域人材の発掘など使命4においても効果を果たしている。日本舞踊ワークショップ(岩間)において地域人材を講師に招いたように、新たな地域人材を講師や若手アーティストとして発掘し事業に活かしていただきたい。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> Xに加えて、インスタグラムもあらたに発信開始とのことで、広報の媒体が増えたことを評価します。 光のぶろむなあどでのイベント運営協力を通じて、地域の人々を結びつける使命を達成されている点を評価します。 吉野町ダンスカップでの子育て世代に配慮し、参加しやすい環境を準備された点を評価します。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民文化祭や地域の自治会との協力で地域の人々との連携がうまくいっている点を評価します。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 3館連携のインクルーシブワークショップの企画が、ダンスを媒介として様々な人をつなぐという目的を達成していて、大いに評価します。 tvk 情報番組内で2つの市民プラザの自主事業を交互に紹介しているとのことで、指定管理者の強みを活かしており、大変望ましいと思います。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 発信を始めたインスタグラムは、発信を今後も定期的に継続して魅力ある広報媒体となっていくことに期待します。 地域のダンスチーム主宰様との会議でのリサーチ結果を、今後の事業運営のヒントになるよう活かされることに期待します。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 偕恵いわまワークスや国際交流団体にヒアリングを行ったとのことです。それを事業実現に活かされることを期待します。 未来開発プロジェクトの実施では、配信可能なコンテンツ提供を団体に交渉しているとのことです。引き続き多数の実現に向けて検討されることに期待します。 子育てに男性も参加しているのが主流となってきていますので、おむつ替えは男女ともに必要ですが、一方で授乳は女性に限ったスペースの確保が必要になるなど、きめこまやかな対応に苦勞されていることがわかりました。引き続き、利用者の立場に立った対応をお願いします。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 2館の運営母体と同じである利点を活かして、2館連携共催の事業を増やしていくことに期待します。運営ではノウハウとスタッフを共有できるので、負担をスリム化してマニュアル化することにより、楽しい企画を次々と発信できれば、地域貢献にもつながると思います。

横浜市市民プラザ 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	伊藤委員	大野委員	佐々木委員	関谷委員
<p>使命5 持続可能性を高める施設運営を行う</p>	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の保守・点検や日常的な予防的修繕に取り組み、安全で快適な施設維持に努めている。(修繕予算の執行率が高いのは何かあったのか?) <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に大きな問題もなく管理運営されており、また職員研修、防災訓練にも積極的に取り組まれている。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ともに開館から40年近くたっており、施設の老朽化が進んでいるなかで、安全安心に心がけ、持続可能な運営（特にハード面の管理に留まらない安心面を支える人的なサービスの向上など）に一層取り組んでいただきたい。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期点検・防災訓練・小規模修繕を計画的に実施し、安全で快適な運営を実現している。 経費削減と黒字決算を両立しつつ、共同事業体内での情報共有や改善提案も継続されており、安定的かつ自律的な運営体制が確立されている。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検・修繕・防災訓練など、基本的な管理運営業務を確実に実施している。 また、地域団体や区役所との協働事業（花フェスタ、東海道に関わる企画など）を通じて、地域文化資源を循環的に活用する仕組みを構築している。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は、効率的な運営に加え、利用者が「来て良かった」と感じる要素を事業評価に取り入れることが求められる。 滞在満足度や再来館意向を把握し、改善に活かす仕組みを整えることで、より質の高い運営が可能となる。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> R6実績で来場者数47,843人（前年比79.4%）と減少傾向にある。今後は、施設の魅力や特徴を整理し直し、「静かに学び、落ち着いた文化に触れられる場」としての個性（差別化）を明確に発信することが重要である。 地域に根ざした穏やかな学びの拠点としての強みを活かし、再来館のきっかけを増やす取組を期待する。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年度、多数の機材を職員自らが小破修繕するなど効率的な施設運営を進めている。 設備の買い替えにあたっては、利用者インタビューを活用し、利用者のニーズに早期に応じている。なお、利用者インタビューへの対応においては、一部ユーザーに偏ることのないようにバランス調整するためのシステムも必要である。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員自らによる日常的な機材点検、備品等の小破修繕と丁寧な対応を進めている。 新たなシステムであるキャッシュレス対応に関する研修を重点的に行い、職員の接客能力の向上を図っている。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 予約システムについては、スマホ対応・オンライン決済の導入等により利用者アンケートでのご意見もあったとのことですが、次年度はシステム更新も図られるとのこと。新たなシステムに対応し、利用しやすい環境整備に努めるとともに引き続き市側との課題共有を図っていただきたい。 両館とも、重点的事項として、備品の管理、機材研修などを記載している。両館のスタッフが相互に他館のやり方なども学びあい、自館のレベルアップに努めていただきたい。 	<p>【評価する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートをエクセル表へ集計することや、毎月の職員全員の会議で引継ぎや課題を共有することなど、スムーズな運営が常態化していることを評価します。 新規就労や異動職員によるスタッフの入れ替えについても、一斉メールや手書きシートを掲示し、毎朝全スタッフが朝礼で確認するなど、二重の情報共有を行い、均質化した対応が取れるように努力されている点を評価します。 機材の点検を舞台担当者と事務職員で対応して職員全体の問題意識として備品管理を行い、不備に即応できる体制となっている点を評価します。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 館全体での防災訓練では、障害者対応ややさしい日本語での避難アナウンスなど、多様なお客様に対応できる訓練を行っている点を評価します。 機材取扱い研修で、使用方法の共有と状態異常の早期発見に心がけた点を評価します。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 四半期に一度と頻繁に、共同事業体各社の運営会議で情報共有や課題について打ち合わせを行っていることを評価します。ハラスメント対策やキャッシュレス対応やオンライン決済など、新しい課題も次々と出てきますので、情報共有や意見交換が安定運営につながると思っています。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市との協議も必要になるのかもしれませんが、リスク対応の課題に挙げられていた駐車場の監視カメラについては、駐車場の事故のみならず、通行人の異変察知にもつながるので、設置の検討に入ってはいかがでしょうか。 災害ボランティア活動の拠点となる館ですが、長期保管用の防災備品保管場所について検討中とのこと、引き続き実際の災害で機能できるように準備検討をお願いします。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員及び共同事業体構成員自らが実施する小破修繕の実績件数が、かなり達成目標を上回っています。自己評価でも予想を上回る頻度で故障・不具合が発生して規模も大きくなっているとのことでした。苦情によるハラスメントにもつながりやすいので、引き続き対応をお願いいたします。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民のための誰でも利用できる施設であるとともに、粗暴な来館者も排除できにくいリスクがあり、緊急時の警察等への連絡体制等、連携の継続をお願いします。

横浜市市民プラザ 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	伊藤委員	大野委員	佐々木委員	関谷委員
その他	<p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 両プラザ相互の人的応援や共同事業体各社によるバックアップなど、連携体制が整ってきている点は評価できる。 施設が老朽化し、また少子高齢化（特に現役世代の減少）が進むなかで、利用料金収入の確保は難しい点はあるが、そうした状況に応じた事業も含めた施設運営に努力していただきたい。 	<p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 両施設とも、紙アンケートを活用した利用者意見の収集と職員間の共有が定着している。今後は、結果を定量的に整理し、選定評価委員会の場合でも状況が把握しやすい形でまとめることが望まれる。また、Google フォーム等のオンライン回答を併用することで集計効率化と利用傾向の分析精度向上が期待される。 	<p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務報告書における業務方針や運営組織の構造に関する記載、収支予算書に示された人件費の最低賃金改定への管理経費への反映手法など、同一運営団体内で記載レベルや事務取扱の違いが散見されます。個々の記載内容に誤りはないとしても、両施設を包括的に管理する上で本部レベルでの統一的な確認方法を整理していくべきと考えます。 	<p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主事業の事業費予算額は、自主事業の収入予算額と同額となっています。利益が全く出ない目標値になっているのはあまり望ましくないもので、次年度の予算額はその点を検討の上、設定願います。 決算額の収支は△744,443 円と厳しい運営となっています。特に大きくマイナスとなっている光熱水費と設備保全費について収支改善につながる要素はないか、十分検討をお願いいたします。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主事業の収入実績が岩間市民プラザでは吉野町市民プラザの2倍となっています。個別の事業実績等では両館とも努力されている点を評価しておりますが、2館の運営母体と同じである利点を活かして、2館の館長と事業企画職員を中心に率直なノウハウの共有による情報交換をしてはいかがでしょうか。地域に特有のものもあるとは思いますが、アレンジすれば岩間市民プラザで成功している自主事業が、吉野町市民プラザでも実現できるケースもあるかもしれません。検討をお願いします。

横浜市市民プラザ 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	伊藤委員	大野委員	佐々木委員	関谷委員
総括	<p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化施設のあり方として、特に市民プラザのように地域社会に密着した施設は、そこで行われる事業も重要だが、それ以上に「文化的コモンズ」として、教育機関・福祉施設・自治会や商店街、文化団体やNPOなどと連携し、地域社会のハブ（つなぎ手）になることが求められるが、両施設ともかなりその役割を果たしていると思われる。今後、更に文化を通して地域社会を活性化し、暮らしやすい地域づくりへ貢献して欲しい。 使命への取り組みには、達成目標を大きく超えているものもあれば、なかなか達成目標に達せないものも見られるので、(達していない目標への努力は求められるもの) 使命や目標自体についても、設置者（市）と話し合って見直しをすることなども必要ではないだろうか。 	<p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域文化の拠点として安定的な運営を維持しており、利用者の視点に立った企画づくりが定着している。今後は、どの層が・どの理由で再来館するのかを把握し、その結果を事業に反映させることが重要である。市民が「自分たちの場所」と感じ、誇りを持って関わる場として、さらなる発展を期待する。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域文化の学び舎としての機能を安定的に発揮している。一方で、人口構成や価値観の変化に対応するため、講座内容や広報の見直し、次世代への継承体制の整備が課題である。「地域の文化を次の世代へ伝える中核拠点」としての役割を再確認し、さらなる成長を期待する。 	<p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 総来場者数が達成指標の倍以上の成果、安定した来場者満足度など、市民の活動の場として評価いただける運営を行っています。事業運営においても、長い経緯のあるギター関連事業での成熟度に応じたプログラム設計のほか、多様な事業を見直しつつ進めています。子育て世代に向けた事業において苦戦しているとのご説明もありましたが、学校連携等で築いたネットワークを活かしさらなる事業展開を期待します。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の特性分析やターゲットを踏まえた広報など戦略的な広報、事業・施設運営への利用者意見の反映などにより、安定した来場者満足度といった成果にもつながっていると感じます。子ども・子育て向け事業として多くの事業を実施しつつ、地域の歴史を振り返り、地元への愛着を育む事業にも力を入れています。他館とは連携事業のみならず、事業や内部管理での成功事例も共有しよりよい市民サービスにつなげてください。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> (使命1) 全般的に利用者のニーズを捉え、事業・運営に反映していくなど、丁寧な運営をしていることが「近所で良いプログラムを楽しめる」といった利用者意見にも反映されていると感じる。ピアノプラン、ウェルカムプラザなどの取組やキャッシュレスシステムへの対応などにより施設の来館者の確保に努め、吉野町市民プラザでは指標を大幅に上回る来場者数となった。半面、利用団体の人員構成の変化により貸館において求められる施設が変化している。周知や利用方法の工夫により、館全体の利用率の向上を図っていただきたい。 (使命2) 来館者のニーズに基づき新たな事業開発も進め、来場者の満足度も高い。共同事業により両館の連携も図られている。両館のスタッフが成功事例やノウハウを共有することで、さらなる一体的管理の効果を活かしていただきたい。 (使命3) 学校や保育園と連携した事業の達成実績は両館の差が大きい。ノウハウの共有など共同指定管理者としての効果を活かしていただきたい。芸術文化教育プラットフォーム学校プログラムを確実に実施してきたことで育んできた学校との結びつきを子ども向け事業の広報や事業創造にも活用していただきたい。 (使命4) 複数館の連携事業により広範な地域連携を進めている。また、地域のイベントとの連携や地域情報の共有化支援、地域施設の外部に向けた発信を支援するなど、市民プラザが期待されている地域のハブとしての役割を進めている。マンパワーの限界もあると思うが、多くの地域の方々と関わり、多様な活動との関係性を深めていただきたい。 (使命5) 施設管理において職員自らによる日常的な機材点検、備品等の小破修繕と丁寧な対応を進めている。必要なマニュアル整備や職員の能力開発を進めるとともに、開館から30年を超える両施設の現況・課題や市民ニーズを適切に横浜市と共有し、将来を見込んだ施設の管理運営を進めていただきたい。 	<p>吉野町市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務全体としては非常に高い意識のもと、管理運営をされており、引き続き細かい項目での評価や改善提案等を参考に見直しをしながら、業務を行って頂ければと思います。 <p>岩間市民プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ館にほかの施設利用者が入館しており、また東海道の保土ヶ谷宿といった特徴的な点を活かして運営されている点を評価します。また岩間市民プラザの継続的な各種事業も盛況で引き続き地元で根差した指定管理業務を行って頂ければと思います。 <p>市民プラザ共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用を始めている方にはなじみの市民プラザとなっていますので、引き続き利用しやすいと思って頂けるように、広報のちらしやホームページやSNS等で周知の機会を作るようにして頂ければと思います。

行政評価

【使命1】文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

【評価できる点】

吉野町市民プラザ

・貸館利用率のうち、ホール利用率は91%(前年度95%)と微減しているものの、総来場者数は、58,103人(前年度比103%)と増加傾向にあることは評価できます。

・優先予約制度ウェルカムプラザでは、定期利用団体8団体のべ13,223名が利用されており、市民の定期的な芸術・文化活動を支援しています。また、ウェルカムプラザの制度周知を兼ねた「来て見て市民プラザ ウェルカムプラザコンサート」の実施により、利用者間の交流も図ることができた点は高く評価します。

岩間市民プラザ

・利用者インタビューの実施により、利用者の声を聞き、施設運営に活かしています。また、アンケート結果から来場者層のメインは高齢者であると分析し、若年層の利用者を獲得へ向けた取り組みを意識しています。

市民プラザ共通

・ホールの空きを活用して、グランドピアノを個人で演奏可能な事業を実施し、利用率向上だけでなくグランドピアノをホールで演奏することができる貴重な機会を提供している点を評価します。

【より一層の取組を期待する点】

吉野町市民プラザ

・「ウェルカムプラザ」や「若年層のギャラリー利用(U25)プラン」等の制度を考案して、利用促進に努めています。制度を活用してもらえるように、より一層周知方法について創意工夫を図ってください。

・貸館利用率については、ギャラリーにおける目標値との乖離が大きいですので、利用率向上に向けた取り組みを引き続き検討する必要があります。

岩間市民プラザ

・総来場者数が47,843人(前年度比79.4%)となっており、貸館利用率についても、レクチャールームが50%(前年度61%)とともに大幅な減少がみられます。また、リハーサル室は目標値との乖離が大きいですので、利用者獲得に向けた周知方法の検討等を引き続き行う必要があります。

・施設見学会は企画したものの参加希望がなかったため未実施とのことでしたので、実施内容や周知方法等を見直して、次に繋がるように取り組んでください。

【使命2】文化芸術活動への参加の機会を提供する

【評価できる点】

吉野町市民プラザ

・体験型事業や講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業の指標については、目標値よりも多く実施することができており、自主事業の充実によって、利用者が文化芸術に触れる機会を創出していることを評価します。

・ギター体験ワークショップでは、幅広い年齢層が参加可能な事業を企画しており、親子参加や子どもの参加も多く、初めて演奏するきっかけとなっている点を高く評価します。

岩間市民プラザ

・体験型事業としては、目標値を超える事業を展開しており、保土ヶ谷区在住の日本舞踊家を講師に迎えた「子どものための日本舞踊ワークショップ」は、踊りだけでなく着付けや作法などの日本文化を学べる体験講座として、子どもの夏休みに貴重な文化体験の機会を提供していることを評価します。

【より一層の取組を期待する点】

吉野町市民プラザ

・「ウェルカムプラザコンサート」の実施により、利用者間の交流も図ることができた点は非常に良かった反面、ウェルカムプラザの制度周知という目的の達成には課題が残ったため、事業内容の更なるブラッシュアップを期待します。

岩間市民プラザ

・講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業の指標については、事業実施回数が年々減少傾向にあります。目標回数実施できるように事業内容の見直しを進めてください。

・二胡講座の講師の逝去等があり、継続してきた事業内容を見直す必要が生じています。利用者ニーズを分析したうえで、魅力的な事業の立案を望みます。

市民プラザ共通

・各市民プラザともにアウトリーチ事業については、R8年度の達成指標に向けて、実施回数を増やす必要があります。普段、市民プラザを利用していない層に向けてアプローチできるように更なる事業企画に期待します。

【使命3】次世代を担う人材を育む

【評価できる点】

吉野町市民プラザ

・子どもの夏休み期間中に「キッズアート講座」や「ホール探検ツアー」のような子どもをターゲットにした事業を展開しており、子どもが文化芸術体験する機会を提供し、次世代育成に寄与している点を評価します。

・人材育成面では、「若手落語会」の公演による若手芸人の研鑽の場を提供するとともに、公演チケットの小中高生のジュニア割引も実施し、出演者の出身中学校の生徒の来場に繋がった点や、「吉野町ダンスカップ 2024」において、コンテスト部門で子ども向けのクラスを分けて機会を創出している点等を高く評価します。

岩間市民プラザ

・学校や保育園と連携した事業は、継続して目標値を超えて取り組んでおり、近隣の保育園と連携した事業とした子ども絵画展「はぐのわたしのお絵かきあそび」等により、子どもが文化芸術体験の芽を育む機会を提供していることを評価します。

・レクチャーコンサートでは学生料金を設定し、学生が公演に会場しやすい工夫をしたり、若手アーティストの公演に協力したりと、若い世代の文化芸術活動を支援している点を評価します。

【より一層の取組を期待する点】

吉野町市民プラザ

・定量指標の各事業数が目標値を下回っています。「吉野町アート空間」は、準備が間に合わずに開催を見送った経緯もあったため、計画的に事業が実施できるように努めてください。

岩間市民プラザ

・子どもや親子連れをターゲットとした事業数が減少傾向にあり、目標回数に対して乖離している状況であることから、様々な切り口から子ども向けの事業を検討し、次世代育成に寄与することを期待します。

【使命4】文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

【評価できる点】

吉野町市民プラザ

- ・大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと」においては、コンサートに出演する団体の公募やサポートを行っており、地域で活動している団体や学校の発表の場として支援している点を評価します。
- ・睦町地域ケアプラザと協力して「野外映画会」を実施しており、地域の施設間連携を図っているとともに、地域のにぎわいづくりに寄与している点を評価します。
- ・施設内情報の SNS 発信については、X(旧 twitter)にて発信していたが、あらたに Instagram での情報発信を始めており、広く情報提供に努めている点を評価します。

岩間市民プラザ

- ・NPO 法人横浜こどものひろばと連携した子ども向け事業の実施や同建物内の偕恵いわまワークス及び保土ヶ谷国際交流ラウンジとの取り組み等、地域団体や施設と協力して様々な事業を展開し、地域ネットワークの形成に寄与しています。

市民プラザ共通

- ・市民プラザ2館と関内ホールを含む3館連携事業のインクルーシブワークショップとして、「スクランブル・ダンスプロジェクト」を実施しており、市民プラザ2館では、それぞれダンスワークショップ開催しました。障がいの有無を越えたあらゆる人達にダンスを通じて繋がりが生まれたことを高く評価します。

【より一層の取組を期待する点】

吉野町市民プラザ

- ・定量指標のうち、「連携する団体数」は目標値に達していません。様々な切り口から地域や団体と連携する方法を探っていくことを期待します。
- ・地域コミュニティが団体利用をする場合に割引となる「LC(ローカルコミュニティ)プラン」については、実施に至っていないものの、地域団体との協力体制は築けていますので、引き続き模索して取り組んでください。

岩間市民プラザ

- ・地域コミュニティを形成する団体については、目標値を超える団体数と連携していますが、更なる連携先の模索や連携団体との密なコミュニケーションを引き続き期待します。

【使命5】持続可能性を高める施設運営を行う

【評価できる点】

市民プラザ共通

- ・日常的な点検や清掃等により、適切な施設の維持管理を行っているとともに、修繕についても目標を上回る執行や軽微なものは職員による不具合の解消に努めています。
- ・防災訓練や災害ボランティアのシミュレーション訓練等を計画的に実施しており、災害時に備えた施設運営体制に努めています。

【より一層の取組を期待する点】

市民プラザ共通

- ・設備の老朽化が進む中で、今後様々な修繕が想定されます。特に舞台設備関係は、修繕費の規模が大きく、不具合が生じても直ちに工事着手することは難しいため、引き続き状況を把握し、保守保全に努めてください。

その他

【評価できる点】

吉野町市民プラザ

・予算の収支額と決算の収支額はほぼ同水準となっており、全体収支額も黒字になっていますので、引き続き計画的な執行管理を行ってください。

市民プラザ共通

・市民プラザの効率的な施設運営をするために事業連携や広報協力等を継続しているとともに、電力調達会社の変更によりコスト削減にも取り組んでいる点を評価します。また、TV 番組内での自主事業告知等の取り組みで指定管理者独自の強みを活かしています。

【より一層の取組を期待する点】

吉野町市民プラザ

・全体の R6 年度収入と R5 年度収入を比較するとほぼ横ばいですが、内訳の利用収入(前年度比 96.8%)及び事業収入(前年度比 77.7%)はそれぞれ減少していますので、収入確保のための取り組みを期待します。

岩間市民プラザ

・利用料金収入は、予算比では 99.2%である一方、前年度比では 91.9%となっており、減収となっています。安定的な収入確保に繋がるように貸館利用率の向上に努めてください。

・R6 年度収支については、744,443 円の赤字になっています。赤字を解消できるように収支の全体適正化を図ってください。

市民プラザ共通

・光熱費等をはじめとする物価高騰の厳しい状況は今後も見込まれるため、経費削減や収入増に繋がる取り組みについて、更なる創意工夫を期待します。

総括

使命1

・両館ともにホールの空き枠を活用して、公演でない、短時間のなかでグランドピアノを使用できる取組など、利用率の向上と利用者層の拡大の両立が図られていると言えます。また、吉野町市民プラザにおいては総来場者数が指標を大きく上回ったことも評価できます。
 ・一方で、ホール以外の室場については達成指標に対し利用率が低いケースが見られますので、広報手段の改善などを通して、達成に努めてください。

使命2

・体験型事業をはじめとして、多くの項目において R8 年度指標を達成しており、文化芸術活動の機会の提供が達成されているといえます。ギターワークショップや日本舞踊ワークショップなど各館の特色ある事業が好評を博していることも評価できます。
 ・一方で、両館共にアウトリーチ活動については R8 年度指標に対し実績が未達成なので、今後の更なる事業企画に期待します。

使命3

・チケットの若年層向けの料金設定や、近隣の保育園や学校との協力による発表の場の提供など、次世代育成の機会の創出がなされています。また、岩間市民プラザでは学校や保育園と連携した事業数が指標を大きく上回ったことが評価できます。
 ・一方で、両館ともに子どもや親子連れをターゲットにした事業数が、R8 年度指標に対し実績が未達成であることをはじめ、未達項目については計画的な事業実施に努めてください。

使命4

・近隣施設との連携・協力による事業実施がなされ、定量指標も概ね達成されています。また、関内ホールも含めた3館連携事業「スクランブル・ダンスプロジェクト」では、障がいの有無を越えたあらゆる人達にダンスを通じて繋がりが生まれ、インクルーシブ事業としても存在感を示しました。

使命5

・適切な施設の維持管理がなされ、両館とも事故無く運営ができているほか、災害に備えた取組を実施するなど、安定した施設管理がなされています。